

【保有資格等】

- ・有機溶剤作業主任者
- ・特定化学物質等作業主任者
- ・臨床検査技師
- ・視能訓練士
- ・情報処理技術者（第1種）
- ・危険物取扱者 甲種
- ・小型車両系建設機械（整地・運搬・積込み用及び掘削用）
- ・刈払機取扱作業者
- ・振動工具取扱作業者
- ・第一級陸上特殊無線技士
- ・第四級海上無線通信士
- ・アマチュア無線技士

【外部資金等】（過去5年間：2013～2018）

《2013年度》

- ・平成25年度科学研究費補助金（日本学術振興会：奨励研究）：八田秀樹（代表）
『超音波照射を応用した迅速で安定した神経・髄鞘染色プロトコールの確立』

《2014年度》

- ・平成26年度新商品・新事業創出公募事業：バイオ分野（富山県新世紀産業機構）：八田秀樹（分担）
『体内に蓄積した重金属の排出を促し、毒性を緩和するサプリメントの開発』
- ・平成26年度受託研究助成（グンゼ株式会社）：八田秀樹（代表）
『紅麹の副作用に対する安全性の検証』

《2015年度》

- ・平成27年度科学研究費補助金（日本学術振興会：奨励研究）：西田健志（代表）
『地域伝承発酵食品が有するメタボリックシンドローム改善効果の検証と機能性物質の探索』
- ・平成27年度富山県委託研究（商企第78号）：八田秀樹（分担）
『海洋深層水中成分の健康増進効果に関する調査研究』
- ・平成27年度戦略的基盤技術高度化支援事業（サポイン）：バイオ技術（平成27年度～平成29年度／経済産業省）：八田秀樹（分担）
『再生医療研究による富山湾海洋深層水等張液を利用した研究用細胞培養液開発および高機能性化粧品開発』

《2016年度》

- ・平成28年度学長裁量経費：高尾泰昌（分担）
『過重力処理を用いた栽培技術の応用展開-モデル植物から薬用・資源植物へ-』
- ・平成28年度新商品・新事業創出公募事業：バイオ分野（富山県新世紀産業機構）：八田秀樹（分担）
『炎症性腸疾患をターゲットとする新規機能性乳酸菌飲料の開発』
- ・平成28-29年度深層水産業推進事業 深層水利用研究費（富山県）：八田秀樹（分担）
『海洋深層水からの新機能性飲料の研究開発-炎症性腸疾患の症状改善を目指して-』

《2017年度》

- ・平成29年度受託研究費（民間企業）：高尾泰昌（分担）
『閉鎖型植物工場において富山大学薬学部附属薬用植物園が提供し得る品種の栽培指導』
- ・平成29年度新商品・新事業創出公募事業：バイオ、医薬工分野（富山県新世紀産業機構）：八田秀樹（分担）
『超音波装置を併用した組織標本作成の迅速化と標準化に向けた研究開発』

《2018年度》

- ・平成30年度受託研究費（民間企業）：高尾泰昌（分担）

『閉鎖型植物工場において富山大学薬学部附属薬用植物園が提供し得る品種の栽培指導』

- ・平成30年度産学官イノベーション推進事業【新商品・新事業創出枠】(富山県新世紀産業機構)：八田秀樹(分担)
『海洋深層の有するホメオスタシス維持能を活用した新しい鮮魚保存法の検証』

【著書】(過去5年間：2013～2018)

- ・八田秀樹『基礎病理技術学』笹氣出版、90～96頁、2013年
- ・八田秀樹『最新 マイクロ波エネルギーと応用技術』産業技術サービス、817～822頁、2014年
- ・八田秀樹『Medical Technology』医歯薬出版、864～869頁、2016年
- ・八田秀樹『臨床検査』医学書院、502～504頁、2017年(増刊号)
- ・村上芳哉『改訂新版 日本の野生植物4』平凡社：PL.217(2017)

【論文】(過去5年間：2013～2018)

- ・Y Ono, M Nagai, O Yoshino, K Koga, A Nawaz, H Hatta, H Nishizono, G Izumi, A Nakashima, J Imura, K Tobe, T Fujii, Y Osuga, S Saito. CD11c+M1-like macrophages but not CD206+M2-like are involved in folliculogenesis in mice ovary. *Scientific Reports*. 2018;8:8171(1-10)
- ・八田秀樹：病理業務における試薬の管理について. *生理学技術研究会報告* (2018) 40:166-167
- ・林由美子：特集眼底視野計の進歩4 眼底視野計を用いた偏心視獲得訓練. *眼科* 60 : 591-595、2018.
- ・Kokaji E, Shimomura A, Minamisaka T, Nakajima T, Miwa S, Hatta H, Nishida T, Kiya C, Imura J. Endoglin (CD105) and SMAD4 regulate spheroid formation and the suppression of the invasive ability of human pancreatic cancer cells. *Int J Oncol*. 2018 ;52 : 892-900.
- ・八田秀樹、中嶋隆彦、常山幸一、井村穰二：神経内分泌腫瘍の同定 - 好銀性染色と免疫染色 -. *生理学技術研究会報告* (2017) 39:106-107
- ・Nishida T, Tsuneyama K, Fujimoto M, Nomoto K, Hayashi S, Miwa S, Nakajima T, Nakanishi Y, Hatta H, Imura J. Aberrant iron metabolism might have an impact on progression of diseases in Tsumura Suzuki obese diabetes mice, a model of spontaneous metabolic syndrome. *Pathol Int*. 2016 Nov ; 6(11) : 622-8.
- ・Yoshihisa Y, Andoh T, Matsunaga K, Shimizu T. ; Efficacy of the astaxanthin for the treatment in a murine model of atopic dermatitis. *PLoS One*. 29;11(3):e0152288, 2016.
- ・Takahashi T, Nishida T, Baba H, Hatta H, Imura J, Sutoh M, Toyohara S, Hokao R, Watanabe S, Ogawa H, Uehara H, Tsuneyama K. Histopathological characteristics of glutamine Synthetase-positive hepatic tumor lesions in a mouse model of spontaneous metabolic syndrome (TSOD mouse). *Mol Clin Oncol*. 2016 Aug; 5(2) : 267-70
- ・Tetsuyuki Takahashi, Takeshi Nishida, Hayato Baba, Hideki Hatta, Johji Imura, Mitsuko Sutoh, Syunji Toyohara, Ryoji Hokao, Syunsuke Watanabe, Hirohisa Ogawa, Hisanori Uehara and Koichi Tsuneyama. Histopathological characteristics of glutamine synthetase-positive hepatic tumor lesions in a mouse model of spontaneous metabolic syndrome (TSOD mouse). *Mol Clin Oncol*. 2016;5(2):267-270
- ・八田秀樹、常山幸一、井村穰二： α リポ酸が有するデトックス効果-カドミウム障害の軽減効果の検証-. *生理学技術研究会報告* (2016) 38:138-139
- ・林由美子：富山大学附属病院眼科におけるビジョンエイド外来の現状. *日本視能訓練士協会誌* 45 : 285-291、2016.
- ・Nakajima T, Yagi H, Baba H, Minamisaka T, Miwa S, Hayashi S, Nishida T, Hatta H, Tsuneyama K, Imura J. Complete resolution of pseudomalignant erosion in a reflux gastroesophageal polyp with proton

- pump inhibitor. Case Rep Pathol. 2015 Nov;657059.
- Nakajima T, Sugiyama T, Baba H, Hatta H, Nishida T, Miwa S, Hayashi S, Tsuneyama K, Imura J. Bone metastasis in gastrointestinal stromal tumors preferentially occurs in patients with original tumors in sites other than the stomach. Int J Clin Exp Pathol. 2015 May 1;8(5):5955-9.
 - Nagata Y, Yoshihisa Y, Rehman MU, Matsunaga K, Kitaichi N, Shimizu T. : Role of macrophage migration inhibitory factor (MIF) in pollen-induced allergic conjunctivitis and pollen dermatitis in mice. PLoS One 10:e0115593, 2015.
 - 八田秀樹, 常山幸一, 溝口訓弘 : 富山湾海洋深層水を活用した医療分野への取り組みと商品開発. 海洋深層水研究 16 (2) : 66 2015
 - Tetsuyuki Takahashi, Hayato Baba, Hideki Hatta, Hirohisa Ogawa, Hisanori Uehara, Yoshiyuki Nishida, Iwao Kataguchi and Koichi Tsuneyama: Oral administration of α -lipoic acid increases serum levels of ascorbic acid and tocopherol:A pilot hematological study. Curr top nutraceut res. (2015)13(3):161-165
 - 八田秀樹, 常山幸一, 井村穰二 : 切り置き切片の抗原陰性化を改善する新しい抗原賦活法の検討. 生理学技術研究会報告 (2015) 36:106-107
 - 林由美子 : 黄斑部疾患に対する眼底視野計 maiaTM を用いた偏心視獲得訓練の効果. あたらしい眼科 32 : 144-148, 2015.
 - 八田秀樹, 常山幸一, 井村穰二 : 迅速で再現性の高い KB 染色法の標準化. 平成 26 年度北海道大学総合技術研究会報告 (2014) 07-03
 - 田中高紀, 山口桂, 八田秀樹, 中村昇二, 藤高仁, 儀間真一 : 機器・分析技術研究会-20 年の歩み-. 平成 26 年度北海道大学総合技術研究会報告 (2014) 08-10
 - Hayato Baba, Koichi Tsuneyama, Takeshi Nishida, Hideki Hatta, Takahiko Nakajima, Kazuhiro Nomoto, Shinichi Hayashi, Shigeharu Miwa, Yuko Nakanishi, Ryoji Hokao, Johji Imura: Neonatal streptozotocin treatment causes type 1 diabetes and subsequent hepatocellular carcinoma in DIAR mice fed a normal diet. Hepatology International(2014)8:415-424
 - Yasuda C, Enomoto E, Ishiwatari S, Mori N, Kagoyama K, Matsunaga K, Yoshihisa Y, Matsukuma S, Shimizu T. : Macrophage migration inhibitory factor (MIF) in the stratum corneum: A marker of the local severity of atopic dermatitis. Exp Dermatol. 23:764-766, 2014.
 - Yoshihisa Y, Norisugi O, Matsunaga K, Nishihira J, Shimizu T. : Involvement of MIF in Basement Membrane Damage in Chronically UVB- Exposed Skin in Mice. PLoS One 9: e89569, 2014.
 - Inoue R, Yoshihisa Y, Tojo Y, Okamura C, Yoshida Y, Kishimoto J, Luan X, Watanabe M, Mizuguchi M, Nabeshima Y, Hamase K, Matsunaga K, Shimizu T, Mori H. : Localization of serine racemase and its role in the skin. J Invest Dermatol., 134: 1618-1626, 2014.
 - 八田秀樹, 常山幸一, 井村穰二 : 超音波照射を応用した迅速で安定した神経・髄鞘染色—プロトコールの確立—. 生理学技術研究会報告 (2014) 36:106-107
 - Hideki Hatta, Koichi Tsuneyama, Kazuhiro Nomoto, Shinichi Hayashi, Shigeharu Miwa, Takahiko Nakajima, Takeshi Nishida, Yuko Nakanishi, Johji Imura: A simple and rapid decalcification procedure of skeletal tissues for pathology using an ultrasonic cleaner with D-mannitol and formic acid. Acta Histochemical116(2014)753-757
 - 八田秀樹, 常山幸一, 井村穰二 : 病理診断業務における創意工夫の紹介～安全衛生の対応. 平成 24 年度愛媛大学総合技術研究会報告 (2013) P058B
 - 八田秀樹, 常山幸一, 井村穰二 : 硬組織に対する迅速な脱灰法の検討—染色性の保持を目指して—. 生理学技

- ・ 林由美子: 富山大学附属病院におけるロービジョン患者へのアンケート調査結果. 日本視能訓練士協会誌 42: 191-199、2013.

【学会・研究会等】(過去5年間: 2013~2018)

- ・ 八田秀樹. マイクロ波や超音波を医療分野(病理診断業務)に応用する技術: 第6回日本電磁波エネルギー応用学会 招聘講演(平成25年1月25日 東京)
- ・ 常山幸一、西田健志、野本一博、林伸一、三輪重治、中嶋隆彦、中西ゆう子、八田秀樹、井村穰二. 新生児期 STZ 処置 DIAR マウスは標準食で1型糖尿病、肝線維化、肝細胞癌を発症する: 第102回日本病理学会総会(平成25年6月6日~8日 札幌)
- ・ 井村穰二、西田健志、常山幸一、佐久間祐司、八田秀樹、三輪重治、中西ゆう子、林伸一、野本一博. 自然発症モデルとしての TSOD マウスにおける肺腫瘍の病理学的検討: 第102回日本病理学会総会(平成25年6月6日~8日 札幌)
- ・ 井村穰二、三輪重治、中嶋隆彦、中西ゆう子、野本一博、林伸一、西田健志、八田秀樹、常山幸一. 膵癌の胞巣形成ならびに極性を規定する因子の特定(第102回日本病理学会総会 平成25年6月6日~8日 札幌)
- ・ 井村穰二、平修、常山幸一、中西ゆう子、中嶋隆彦、三輪重治、林伸一、野本一博、西田健志、八田秀樹. 質量顕微鏡を用いた肺腫瘍において特異的に生じている分子の捕捉(第102回日本病理学会総会 平成25年6月6日~8日 札幌)
- ・ 常山幸一、西田健志、野本一博、林伸一、三輪重治、中嶋隆彦、中西ゆう子、八田秀樹、井村穰二. 新生児期 MSG 処置 DIAR マウスは標準食で肥満、糖尿病、及び大滴性脂肪滴を伴う NASH を発症する(第102回日本病理学会総会 平成25年6月6日~8日 札幌)
- ・ 野本一博、中嶋隆彦、三輪重治、林伸一、中西ゆう子、西田健志、八田秀樹、常山幸一、井村穰二. 乳腺 metaplastic carcinoma における stem cell marker の発現に関する免疫組織化学的検討(第102回日本病理学会総会 平成25年6月6日~8日 札幌)
- ・ 林伸一、野本一博、三輪重治、中嶋隆彦、八田秀樹、西田健志、常山幸一、井村穰二. S 状結腸 hepatoid adenocarcinoma の1症例(第102回日本病理学会総会 平成25年6月6日~8日 札幌)
- ・ 八田秀樹、常山幸一、野本一博、林伸一、三輪重治、中嶋隆彦、西田健志、中西ゆう子、井村穰二. 硬組織の脱灰操作に対する超音波洗浄機の有効性(第102回日本病理学会総会 平成25年6月6日~8日 札幌)
- ・ 中嶋隆彦、西田健志、八田秀樹、三輪重治、林伸一、野本一博、常山幸一、井村穰二. 肝・腹膜以外への転移をきたした GIST の4例(第102回日本病理学会総会 平成25年6月6日~8日 札幌)
- ・ 井村穰二、平修、常山幸一、中嶋隆彦、中西ゆう子、三輪重治、林伸一、野本一博、西田健志、八田秀樹. 肝癌において特異的に発現している分子の網羅的解析(第102回日本病理学会総会 平成25年6月6日~8日 札幌)
- ・ 西田健志、常山幸一、野本一博、林伸一、三輪重治、中嶋隆彦、中西ゆう子、八田秀樹、井村穰二. 肥満・2型糖尿病、NASH を自然発症する TSOD マウスの脾臓にみられる異常鉄沈着のメカニズム解析(第102回日本病理学会総会 平成25年6月6日~8日 札幌)
- ・ 林伸一、野本一博、三輪重治、中嶋隆彦、八田秀樹、西田健志、常山幸一、井村穰二. 肝原発と考えられた neuroendocrine tumor の1症例(第102回日本病理学会総会 平成25年6月6日~8日 札幌)
- ・ 三輪重治、中嶋隆彦、林伸一、野本一博、西田健志、八田秀樹、常山幸一、井村穰二. 悪性リンパ腫に対する化学療法中に高度の肝障害をきたし、Veno-Occlusive Disease (VOD) が疑われた一剖検例(第102回日本病理学会総会 平成25年6月6日~8日 札幌)

- ・澤谷和子. 分子・構造解析施設における分析機器の外部利用について：機器・分析技術研究会（2013. 9. 12-13）鳥取大学
- ・林由美子、淵澤千春、林篤志、富山大学附属病院におけるビジョンエイド外来の現状：第 15 回日本ロービジョン学会学術総会（2014. 11. 1-3）大宮
- ・常山幸一、西田健志、野本一博、林伸一、三輪重治、中嶋隆彦、八田秀樹、井村穰二. 自然発症メタボリックシンドローム-発癌モデル（TSOD マウス）の肝腫瘍の特徴（第 103 回日本病理学会総会 平成 26 年 4 月 24 日～26 日 広島）
- ・八田秀樹、常山幸一、野本一博、林伸一、三輪重治、中嶋隆彦、西田健志、中西ゆう子、井村穰二. 神経・髄鞘染色法に対する超音波洗浄機の有効性（第 103 回日本病理学会総会 平成 26 年 4 月 24 日～26 日 広島）
- ・西田健志、常山幸一、野本一博、林伸一、三輪重治、中嶋隆彦、中西ゆう子、八田秀樹、井村穰二. メタボリックシンドローム-発癌モデル、TSOD マウスに自然発症する悪性肝腫瘍の網羅的遺伝子発現解析（第 103 回日本病理学会総会 平成 26 年 4 月 24 日～26 日 広島）
- ・中嶋隆彦、西田健志、八田秀樹、三輪重治、林伸一、野本一博、常山幸一、井村穰二. 食道 reflux gastroesophageal polyp に見られた pseudomalignant erosion の 1 例（第 103 回日本病理学会総会 平成 26 年 4 月 24 日～26 日 広島）
- ・三輪重治、中嶋隆彦、林伸一、野本一博、西田健志、八田秀樹、常山幸一、井村穰二. p57kip2 染色が全奇胎パターンを呈し、ゲノムインプリンティング障害が疑われた流産例（第 103 回日本病理学会総会 平成 26 年 4 月 24 日～26 日 広島）
- ・林伸一、野本一博、三輪重治、中嶋隆彦、八田秀樹、西田健志、常山幸一、井村穰二. 肺扁平上皮癌を合併した多中心性細網組織球症の一部検例（第 103 回日本病理学会総会 平成 26 年 4 月 24 日～26 日 広島）
- ・畠野真帆、高木康司、西田健志、八田秀樹、中嶋隆彦、三輪重治、林伸一、常山幸一、小沼一紀、平修、一柳優子、井村穰二. 肺癌では GalCer が特異的に高発現している-質量分析を併用した検討（第 103 回日本病理学会総会 平成 26 年 4 月 24 日～26 日 広島）
- ・澤谷和子. 共同利用施設における FT リニアイオントラップ質量分析装置の運用報告：機器・分析技術研究会（2014. 9. 4-5）北海道大学
- ・林由美子、入江真理、淵澤千春、林篤志、網膜色素変性患者への拡大読書器と文書読み上げ装置の選定：第 16 回日本ロービジョン学会学術総会（2015. 11. 21-22）東京
- ・林伸一、三輪重治、中嶋隆彦、八田秀樹、西田健志、常山幸一、井村穰二. 外胚葉形成不全症の 1 剖検例（第 104 回日本病理学会総会 平成 27 年 4 月 30 日～5 月 2 日 名古屋）
- ・常山幸一、馬場逸人、西田健志、八田秀樹、林伸一、三輪重治、中嶋隆彦、須藤光子、外尾亮治、井村穰二. メタボリックシンドロームモデルマウスを用いた、マウス頻回肝生検法の開発（第 104 回日本病理学会総会 平成 27 年 4 月 30 日～5 月 2 日 名古屋）
- ・西田健志、常山幸一、林伸一、三輪重治、中嶋隆彦、野本一博、中西ゆう子、八田秀樹、井村穰二. 鉄代謝異常解析モデルとしての自然発症メタボリックシンドロームモデルマウス（TSOD マウス）の有用性（第 104 回日本病理学会総会 平成 27 年 4 月 30 日～5 月 2 日 名古屋）
- ・三輪重治、中嶋隆彦、林伸一、西田健志、八田秀樹、常山幸一、井村穰二. 肺末梢の ciliated muconodular papillary tumor の 1 例（第 104 回日本病理学会総会 平成 27 年 4 月 30 日～5 月 2 日 名古屋）
- ・中嶋隆彦、三輪重治、林伸一、常山幸一、西田健志、八田秀樹、井村穰二、寺畑信太郎. 体部と卵管の上皮内伸展および腹膜播種で再発した子宮頸部 CIS 円錐切除後の一例（第 104 回日本病理学会総会 平成 27 年 4 月 30 日～5 月 2 日 名古屋）
- ・八田秀樹、常山幸一、林伸一、三輪重治、中嶋隆彦、西田健志、中西ゆう子、井村穰二. 免疫染色における偽陰性 - 切り置きにより抗原性が減弱した標本の賦活法 - （第 104 回日本病理学会総会 平成 27 年 4 月 30 日～5

月 2 日 名古屋)

- ・高木康司、下村明子、西田健志、八田秀樹、中嶋隆彦、三輪重治、林伸一、常山幸一、井村穰二. 高浸潤性膵癌株の樹立と浸潤能を規定する因子の同定 (第 104 回日本病理学会総会 平成 27 年 4 月 30 日～5 月 2 日 名古屋)
- ・畠野真帆、竹下優、東松由羽子、中西ゆう子、八田秀樹、三輪重治、中嶋隆彦、林伸一、常山幸一、井村穰二. 乳腺の浸潤性微小乳頭癌の細胞極性を規定する因子の検討 (第 104 回日本病理学会総会 平成 27 年 4 月 30 日～5 月 2 日 名古屋)
- ・井村穰二、高木康司、下村明子、西田健志、八田秀樹、南坂尚、三輪重治、中嶋隆彦、林伸一. 高い浸潤性をもった膵癌細胞株の樹立と発現亢進因子の同定 (第 104 回日本病理学会総会 平成 27 年 4 月 30 日～5 月 2 日 名古屋)
- ・八田秀樹、常山幸一、溝口訓弘. 富山湾海洋深層水を利活用した医療分野への取り組みと商品開発 (第 19 回海洋深層水利用学会全国大会 2015 平成 27 年 11 月 12 日～11 月 13 日 久米島)
- ・三輪重治、中嶋隆彦、林伸一、西田健志、八田秀樹、常山幸一、井村穰二、中田直克、杉山敏郎. GIST 診療における DOG1 の診断マーカーとしての有用性と治療標的としての可能性 (第 11 回日本消化管学会総会学術集会 平成 27 年 2 月 13 日～14 日 東京)
- ・井村穰二、高木康司、下村明子、西田健志、八田秀樹、南坂尚、中嶋隆彦、三輪重治、林伸一. 高浸潤性膵管癌では IL-32 が浸潤を抑制している (第 105 回日本病理学会総会 平成 28 年 5 月 12 日～14 日 仙台)
- ・林伸一、三輪重治、中嶋隆彦、南坂尚、八田秀樹、西田健志、井村穰二. 大腸癌原発の大細胞神経内分泌癌の 1 例 (第 105 回日本病理学会総会 平成 28 年 5 月 12 日～14 日 仙台)
- ・三輪重治、中嶋隆彦、林伸一、南坂尚、八田秀樹、西田健志、井村穰二. 小円形細胞腫瘍の組織像を呈した再発性 GIST の 1 例 (第 105 回日本病理学会総会 平成 28 年 5 月 12 日～14 日 仙台)
- ・中嶋隆彦、南坂尚、三輪重治、林伸一、西田健志、八田秀樹、井村穰二、向崇徳、野本一博、増田信二. くも膜下出血後に脾動脈瘤破裂をきたした segmental arterial mediolysis の一例 (第 105 回日本病理学会総会 平成 28 年 5 月 12 日～14 日 仙台)
- ・南坂尚、中嶋隆彦、八田秀樹、西田健志、三輪重治、林伸一、小島勝、井村穰二. 左上肢神経の走行に沿って進展した末梢神経性 neurolymphomatosis の 1 例 (第 105 回日本病理学会総会 平成 28 年 5 月 12 日～14 日 仙台)
- ・林伸一、三輪重治、中嶋隆彦、南坂尚、八田秀樹、西田健志、井村穰二. 大腸癌原発の大細胞神経内分泌癌の 1 例 (第 105 回日本病理学会総会 平成 28 年 5 月 12 日～14 日 仙台)
- ・八田秀樹、中嶋隆彦、常山幸一、林伸一、三輪重治、南坂尚、西田健志、中西ゆう子、井村穰二. 免疫染色におけるホウ酸含有緩衝液の有効性—室温放置により抗原性が減弱した標本の賦活法— (第 105 回日本病理学会総会 平成 28 年 5 月 12 日～14 日 仙台)
- ・西田健志、常山幸一、林伸一、三輪重治、中嶋隆彦、南坂尚、八田秀樹、井村穰二. 肥満・糖尿病マウスを用いた、メタボリックシンドロームに対する地域伝承発酵食品の有効性の検証 (第 105 回日本病理学会総会 平成 28 年 5 月 12 日～14 日 仙台)
- ・山本真樹子、高木康司、南坂尚、西田健志、八田秀樹、三輪重治、中嶋隆彦、林伸一、上田善彦、井村穰二. イタイイタイ病における腎病変は近位尿細管障害だけに限局しているのか? (第 105 回日本病理学会総会 平成 28 年 5 月 12 日～14 日 仙台)
- ・井村穰二、高木康司、下村明子、南坂尚、三輪重治、中嶋隆彦、林伸一、西田健志、八田秀樹. IL-32 は膵癌細胞の浸潤能を制御している (第 75 回日本癌学会学術総会 平成 28 年 10 月 6 日～10 月 8 日 横浜)
- ・中嶋隆彦、西田健志、八田秀樹、南坂尚、三輪重治、林伸一、井村穰二、野本一博. 子宮内膜症を背景とする類内膜腺癌を膣と直腸に異時性に発症した一例 (第 62 回日本病理学会秋期特別総会 平成 28 年 11 月 10 日～11

日 金沢)

- ・八田秀樹、西田芳之、片口巖、常山幸一. α リポ酸の有効性と安全性-カドミウム障害に対するデトックス効果の検証- (第 21 回日本フードファクター学会学術集会 平成 28 年 11 月 19 日~20 日 富山)
- ・一木 (植原) 珠樹、長岡 (中菌) 栄子、大橋美保、佐藤豊三、花田薫、辰尾良秋、高尾泰昌、村上芳哉、黒崎文也、青木孝之、藤川貴史. 薬用植物ジオウ類からの数種植物ウイルスの検出とそれらの塩基配列の解析: 平成 28 年度日本植物病理学会大会 (2016. 3. 21-23) 岡山
- ・A Kikuchi, Y Yamamura, Y Murakami, Y Takao, Y Tatsuo, F Kurosaki, JB Lee ; Discovery of genes involved in onjisaponin biosynthesis from *Polygala tenuifolia* : 9th Joint Natural Products Conference 2016
- ・高尾泰昌、村上芳哉、辰尾良秋、山村良美、藤野廣春、黒崎文也 ; ハシリドコロ (*Scopolia japonica*) の持続的栽培法の検討 (1) : 日本生薬学会第 63 回年会 (富山) (2016. 9. 24-25) 富山
- ・菊地天禎那、山村良美、村上芳哉、高尾泰昌、辰尾良秋、黒崎文也、李貞範 ; オンジサポニン生合成酵素遺伝子の探索 : 日本薬学会第 136 年会 (横浜) (2016. 3. 26-29) 横浜
- ・澤谷和子. 富山大学における NMR・MS の共用化 : 機器・分析技術研究会 (2016. 9. 8-9) 名古屋大学
- ・井村穰二、高木康司、下村明子、南坂尚、中嶋隆彦、三輪重治、林伸一、西田健志、八田秀樹. 膵癌の浸潤には IL-32 が関与する (第 106 回日本病理学会総会 平成 29 年 4 月 27 日~29 日 東京)
- ・井村穰二、畠野真帆、下村明子、南坂尚、西田健志、八田秀樹、中嶋隆彦、三輪重治、林伸一. 腫瘍細胞の極性に対する Liver kinase B1 の関わり (第 106 回日本病理学会総会 平成 29 年 4 月 27 日~29 日 東京)
- ・中嶋隆彦、西田健志、八田秀樹、南坂尚、三輪重治、林伸一、井村穰二、吉井智美、堀隆. 術前材料で上皮性成分として認識するのが困難であった子宮体部線肉腫の一例 (第 106 回日本病理学会総会 平成 29 年 4 月 27 日~29 日 東京)
- ・南坂尚、下村明子、八田秀樹、西田健志、中嶋隆彦、三輪重治、林伸一、井村穰二. 高浸潤能を有する肺ヒト腺癌細胞株の樹立 (第 106 回日本病理学会総会 平成 29 年 4 月 27 日~29 日 東京)
- ・南坂尚、江口基紀、西田健志、八田秀樹、中嶋隆彦、三輪重治、林伸一、井村穰二. 平滑筋成分を優位とする肺過誤腫の一例 (第 106 回日本病理学会総会 平成 29 年 4 月 27 日~29 日 東京)
- ・林由美子、林頭代、奥村詠里香、中川拓也その他、富山大学附属病院における遮光眼鏡の処方状況 : 第 18 回日本ロービジョン学会学術総会 (2017. 5. 20-21) 岐阜
- ・一木 (植原) 珠樹、大橋美保、田村隆幸、辰尾良秋、村上芳哉、高尾泰昌、黒崎文也、佐藤豊三、花田薫、青木孝之 ; 薬用植物ミシマサイコとカノコソウから見いだされた植物ウイルス : 平成 29 年度日本植物病理学会大会 (2017. 4. 26-28) 盛岡
- ・佐藤豊三、廣岡裕吏、菱田敦之、林茂樹、安食菜穂子、川原信夫、田村隆幸、辰尾良秋、村上芳哉、高尾泰昌、黒崎文也、一木 (植原) 珠樹、根本博 ; トウキとミシマサイコから分離された植物病原糸状菌 : 平成 29 年度日本植物病理学会大会 (2017. 4. 26-28) 盛岡
- ・森万菜実、三澤知央、飯田修、高尾泰昌、辰尾良秋、村上芳哉、黒崎文也、佐藤豊三 ; *Rhizoctonia solani* AG-5 によるトリカブト立枯病 (新称) : 平成 29 年度日本植物病理学会北海道部会 (2017. 10. 19-20) 札幌
- ・佐藤豊三、廣岡裕吏、菱田敦之、林茂樹、安食菜穂子、飯田修、川原信夫、田村隆幸、辰尾良秋、村上芳哉、高尾泰昌、黒崎文也、一木 (植原) 珠樹、根本博 ; 日本産薬用作物の主要 5 品目より分離された植物病原菌類 : 環境微生物系学会合同大会 2017 (2017. 8. 29-31) 仙台
- ・荒山駿介. 第 35 回献体実務担当者研修会 (愛媛大学・2017. 11. 24)
- ・西田健志. 肥満・2 型糖尿病マウスを用いた、メタボリックシンドロームに対する地域伝承発酵食品の有用性の検証 : 第 28 回生物学技術研究会 (2017. 2. 16-17) 岡崎
- ・井村穰二、川口真一、高木康司、下村明子、目時珠穂、南坂尚、中嶋隆彦、三輪重治、西田健志、八田秀樹. 高浸潤性膵癌細胞株から樹立化され異なった挙動を示すサブクローン化細胞内で発現する分子の検索 (第 107 回

日本病理学会総会 平成 30 年 6 月 21 日～23 日 札幌)

- ・南坂尚、下村明子、西田健志、八田秀樹、中嶋隆彦、三輪重治、井村穰二. 高浸潤性肺ヒト腺癌細胞株の樹立と発現因子の検索 (第 107 回日本病理学会総会 平成 30 年 6 月 21 日～23 日 札幌)
- ・中嶋隆彦、西田健志、八田秀樹、南坂尚、三輪重治、井村穰二. Renal tubular dysgenesis の一部検例 (第 107 回日本病理学会総会 平成 30 年 6 月 21 日～23 日 札幌)
- ・谷畑昂士郎、高尾泰昌、他「過重力環境が薬用植物の生長に与える影響」：平成 30 年度第 5 回富山-バーゼル医薬品研究開発ジョイントシンポジウム
- ・川部眞登、築尾嘉章、村上芳哉、高尾泰昌、辰尾良秋、黒崎文也、杉山洋行、守川俊幸；Calonectria sp. によるイトヒメハギ根腐病 (新称)：平成 30 年度日本植物病理学会大会 (2018. 3. 25-27) 神戸
- ・井出悠斗、李貞範、山村良美、村上芳哉、黒崎文也；薬用植物ヒキオコシ由来ジテルペン生合成酵素の解明：日本生薬学会第 65 回年会 (広島) (2018. 9. 16-17) 広島
- ・荒山駿介. 第 19 回解剖技術研究・研修会 (日本獣医生命科学大学・2018. 3. 27)

【その他】(過去 5 年間：2013～2018)

- ・村上芳哉. 富山大学薬学部附属薬用植物園 春季・秋季一般公開 (2013～2018)
- ・村上芳哉. 楽しい薬用植物の育て方・殖やし方 中級編：富山大学公開講座 (2013～2018)
- ・村上芳哉. 第 16 回加賀・能登の薬草シンポジウム：金沢大学 (2015. 10. 18) 野外観察会講師
- ・村上芳哉. 呉藍 (紅花) 祭り in 呉・薬草と活性化～市民参加・薬草シンポジウム～：広島国際大学 (2016. 7. 2-3) 講演、薬草観察会講師
- ・村上芳哉. NPO 法人富山のくすし 理事着任 (2018)
- ・村上芳哉. NPO 法人富山のくすし 平成 29 年度春の薬用植物栽培講習会：富山県薬用植物栽培指導センター (2018. 3. 24) 講演
- ・高尾泰昌. 30 年まで 富山大学薬学部附属薬用植物園 春季・秋季一般公開
- ・高尾泰昌. 30 年まで 公開講座 「楽しい薬用植物の育て方・殖やし方 中級編」
- ・高尾泰昌. 19 回加賀能登の薬草シンポジウム 野外薬草観察会 講師 (2018. 6. 24)
- ・高尾泰昌. 18 回加賀能登の薬草シンポジウム 野外薬草観察会 講師 (2017. 10. 22)
- ・高尾泰昌. 16 回加賀能登の薬草シンポジウム 野外薬草観察会 講師 (2015. 10. 18)
- ・平田暁子、川原昌彦、中村善志、八田秀樹、澤谷和子、田村隆文. 全国規模の技術研究会 (研究会) への参画—大学間の垣根を越えた人的ネットワークがもたらす本学への効果— (富山大学学際交流会 ポスターエントリー 平成 26 年 3 月 10 日 富山大学黒田講堂)
- ・八田秀樹. 奨励研究採択の経験 (平成 27 年度科研費 (奨励研究) 公募要領等説明会及び獲得のためのセミナー 平成 26 年 11 月 17 日 富山大学本部棟会議室)
- ・常山幸一、渡邊俊介、高橋徹行、小川博久、上原久典、西田健志、八田秀樹、馬場逸人、井村穰二. TSOD マウスの有する新たな可能性を探る (第 10 回 TSOD (肥満・糖尿病) マウス研究会情報交換会 平成 27 年 3 月 6 日 つくば国際会議場)
- ・常山幸一、八田秀樹、片口巖. 体内に蓄積した重金属の排出を促し、毒性を緩和するサプリメントの開発 (平成 26 年度新商品・新事業創出公募事業 研究成果報告会 平成 27 年 3 月 23 日 富山技術交流センター)
- ・八田秀樹. 免疫染色による培養効果の検証 (平成 27 年度戦略的基盤技術高度化支援事業「再生医療研究による富山湾海洋深層水等張液を利用した研究用細胞培養液開発および高機能性化粧品開発」第 1 回研究開発委員会報告 平成 27 年 11 月 21 日 富山県新世紀産業機構)
- ・八田秀樹. 免疫染色による培養効果の検証 (平成 27 年度戦略的基盤技術高度化支援事業「再生医療研究による富山湾海洋深層水等張液を利用した研究用細胞培養液開発および高機能性化粧品開発」第 2 回研究開発委員会

報告 平成 28 年 2 月 13 日 富山県新世紀産業機構)

- ・八田秀樹. (平成 28 年度戦略的基盤技術高度化支援事業「再生医療研究による富山湾海洋深層水等張液を利用した研究用細胞培養液開発および高機能性化粧品開発」第 1 回研究開発委員会 報告 平成 28 年 7 月 29 日 富山県新世紀産業機構)
- ・八田秀樹. (平成 28 年度戦略的基盤技術高度化支援事業「再生医療研究による富山湾海洋深層水等張液を利用した研究用細胞培養液開発および高機能性化粧品開発」第 2 回研究開発委員会 報告 平成 29 年 3 月 29 日 富山県新世紀産業機構)
- ・八田秀樹. (平成 29 年度戦略的基盤技術高度化支援事業「再生医療研究による富山湾海洋深層水等張液を利用した研究用細胞培養液開発および高機能性化粧品開発」第 1 回研究開発委員会 報告 平成 29 年 8 月 1 日 富山県新世紀産業機構)
- ・八田秀樹. (平成 29 年度戦略的基盤技術高度化支援事業「再生医療研究による富山湾海洋深層水等張液を利用した研究用細胞培養液開発および高機能性化粧品開発」第 2 回研究開発委員会 報告 平成 30 年 2 月 10 日 富山県新世紀産業機構)
- ・八田秀樹、杉本茂. 超音波装置を併用した組織標本作成の迅速化と標準化に向けた研究開発 (平成 29 年度新商品・新事業創出公募事業研究成果報告会 平成 30 年 3 月 19 日 富山技術交流センター)
- ・八田秀樹. 機器・分析技術研究会地域代表者 運営協議委員 (平成 25 年 10 月～)
- ・八田秀樹. NPO 法人病理技術研究会 運営委員会役員
- ・八田秀樹. 平成 27-29 年度戦略的基盤技術高度化支援事業に係る研究開発委員会 委員
- ・八田秀樹. 富山県立大学非常勤講師 (平成 29 年度～)

【特許等】

- ・藤野廣春、辰尾良秋、高尾泰昌、他. 品種登録番号 第 21347 号 種類：Capsicum L：カハットエース
- ・八田秀樹、他. 特願 2007-152498 号／特開 2008-303182 号：等張液
- ・八田秀樹、他. 特願 2008-202451 号／特開 2010-37275 号：海洋深層水を原料とする外用剤
- ・八田秀樹. 平成 18 年度第 7 回杉谷キャンパス発明審査会：職務発明『組織恒常性維持液』
- ・八田秀樹. 平成 20 年度第 2 回杉谷キャンパス発明審査会：職務発明『海洋深層水分離加工技術より製した等張液の外用剤』
- ・八田秀樹. 平成 30 年度第 8 回杉谷キャンパス発明審査会：職務発明『細胞培養用溶液の製造方法、細胞培養用溶液、液体培地、および細胞培養用処理液』『酸化ストレス抑制剤の製造方法および酸化ストレス抑制剤』